

アムンディ・ジャパン株式会社
議案別議決権行使状況
(2013年5月および6月に開催された株主総会における議案)

1. 会社提出議案に対する賛成・反対・棄権・白紙委任の議案件数

	賛成	反対	棄権	白紙委任	合計
a. 剰余金処分案等	323	1	0	0	324
b. 取締役選任	210	193	0	0	403
c. 監査役選任	44	283	0	0	327
d. 定款一部変更	119	9	0	0	128
e. 退職慰労金支給	6	46	0	0	52
f. 役員報酬額改定	95	6	0	0	101
g. 新株予約権発行	18	24	0	0	42
h. 会計監査人選任	3	0	0	0	3
i. 組織再編関連(※1)	8	0	0	0	8
j. その他会社提案(※2)	5	44	0	0	49
合計	831	606	0	0	1437

(※1) 合併、営業譲渡・譲受、株式交換、株式移転、会社分割等

(※2) 自己株式取得、法定準備金減少、第三者割当増資、資本減少、株式併合買収防衛策(上記a~iの議案を除く)等

2. 株主提出議案に対する賛成・反対・棄権・白紙委任の議案件数

	賛成	反対	棄権	白紙委任	合計
合計	0	75	0	0	75

3. 議決権行使結果の概況

2013年の議決権行使では、前年に引き続き、取締役選任および監査役選任における反対行使が多くなる結果となりました。これは主に社外者の独立性が十分ではない場合、具体的には大株主、主要取引先銀行、取引先、会計監査法人、顧問契約先出身者については原則として反対としているためです。取引先の独立性については、取引額が僅少と言及されるだけでは情報が不十分だと考えています。今年は、具体的な取引額や割合が議案書に明示され、明らかに僅少であるため賛成する事例がありましたので、企業側の情報開示が前年から比べると改善しました。一方、取締役の増員について、事由が不十分であることから反対とする案件がいくつかあり、事業戦略上の理由などが議案書に明記されることが望ましいと考えます。